福祉と防災一体の町づくりを

日本共産党

3・11東日本大地震…
あらためて松戸市の災害対策を求める

3・11東日本大震災の被害は甚大。松戸市内でも家屋の全壊・半壊、瓦屋根の損壊、液状化による道路の陥没や学校施設、保育所などに被害が広がりあらためて松戸市の災害対策を求めました。

高齢者や障害のある方は「誰に助けを求めてよいかわからない」「仏壇が倒れた」「テレビが倒れた」などの家具転倒の現状。また、「防災無線は聞こえない」と市民から意見が多数寄せられました。さらに、緊急避難所となっている学校や公園の備蓄の不足や緊急時の連携など、住民からの聞き取り調査や議会質問等で明らかにし、改善と具体的な対策を求めました。

―住宅の一部損壊修繕への貸付を―

瓦屋根の損壊などの修繕にともなう費用に対して、連帯保証人があれば無利子、連帯保証人がなくても1・5％の低金利で貸しつけ制度を松戸市単独で決められました。

―住宅リフォーム助成／家具転倒防止器具設置へ補助を―

地震発生時に住民の命を守ることで効果を発揮する、「具転倒防止器具設置補助を」の求めに対し、市は「実施に向けて検討」と答弁。さらに、瓦屋根の修繕などにも適用できる「住宅リフォーム助成制度の導入で、市民の震災被害救済の具体化を」と市長に迫り、「担当課で検討している」との答弁を引き出しました。

―災害関連事業に補正予算―

小学校44校中38校と中学校20校（全校）と市立高校、文化ホール、市民会館、保育所（民間含む）など市内の公共施設等の被害に伴う復旧、強化を図るため6億7千59万5千円の補正予算が計上され、賛成多数で採択されました。

党市議団が提出した「原発ゼロを求める意見書」

「いまこそ原発依存から自然・再生可能エネルギーの本格的利用への抜本的転換が必要であり、期限を決めた原発からの撤退が求められている」と国に対し求めたもの。しかし、自民・保守、公明、市民力、絆などの反対で否決されました。

一方、日本共産党も共同提案となった「福島第一原発事故への責任ある対応を求める決議」と他会派から提出された「原子力発電所の安全対策の強化を求める意見書」は全会一致で可決しました。

6つの議案中、市民負担増となる2つの議案に反対

1つ目の「国民健康保険料の賦課限度額を引き上げる議案」は、医療分、介護分は据え置きとなるものの、高額所得者の限度額は年4万円引き上げられます。

2つ目の「松戸市立病院の紹介状なし初診加算料の引き上げ議案」は、この8月から1,000円であったものが2,000円に引き上げとなります。市民負担増と診療抑制につながるもので、しかも周知期間が1カ月しかないと指摘。2つの議案に反対しました。

「松戸市立病院の早期建設を求める陳情」全会一致で採択される

「市立病院のあり方と地域医療を考える松戸市民の会」から提出された「松戸市立病院建替えに関する答申書を尊重し、早期に建設用地を確定し、市民参加で5年を目途に完成させることを求める陳情」が、「病院建設検討特別委員会」で審議されました。

陳情書は、「市民参加のまちづくりのために、早期に市民からの意見・提案を聞く場を多様な方法でつくりだせるように」とも求めています。

党は、「特別委員会」で積極的に採択するよう主張。陳情は、全会一致で採択されました。

市立病院は600床規模とすべき

専門家による「市立病院建替計画検討委員会」は3つの現地建替案について検討し、第3次救急、小児医療などの機能を維持するためには最低でも600床は必要との認識でほぼ一致、600床規模の案に絞り議論してきました。しかし建設費が増大し、工期は8年以上におよぶため、現地建替は「極めて困難」とする「答申」が3月、市長に提出されました。

市長は記者会見で「答申は尊重するが、私のマニフェストにそぐわない」として新たな構想案（複数）を6月末に提案すると表明しました。

6月30日に議会に提出されたのは、運動公園の一部、千駄堀、東松戸病院（高塚新田）、紙敷、現地建替（上本郷）と、5カ所8通りの構想案です。

構想案では、市立病院を「10日前後の短期入院を前提とした超急性期病院」として患者の回転率を上げて収益の拡大を目指すとともに、東松戸病院は「日常支援病院」とするなどという考えが説明されました。

また、今回提案された候補地のうち運動公園や千駄堀については、過去に候補地として議論された場所です。用地取得の実現性、解決しなければならない課題について、市は「何も検討していない」という無責任な答弁を繰り返しました。

本郷谷市長は、上本郷の市立病院を450床の「超急性期病院」にして、東松戸病院を250床の「日常支援病院」にする構想6か、両病院を入れかえ、市民病院を減床する構想7のいずれかを「私の推薦案としたい」などと表明しています。

450床では、現在の機能を維持することは極めて困難になります。また、現場の医療スタッフの合意もないままで議会に提案するやり方は、現場無視と言われても仕方ありません。

日本共産党は、現地周辺に公的医療機関を存続させることを軸として、現在の機能を維持・向上できる600床規模を確保した新市立病院建設に向け、全力を尽くします。

6月議会のおもな議案に対する各会派の態度

あなたの気持ちにぴったりな会派・議員は？

2011年6月市議会 主な審査結果一覧表

○：賛成　×：反対（原案に対しての態度）

12件の議案、陳情、意見書、決議に対し、10件に賛成、2件に反対しました。

		会派	日本共産党					公明党										市民クラブ									松政クラブ							絆							市民力				民主社民			無
		結果	宇津野史行	伊藤余一郎	高橋　妙子	高木　健	山口　正子	山沢　誠	渡邊美喜子	高橋　伸行	伊東　英一	飯箸　公明	織原　正幸	石川　龍之	城所　正美	諸角　由美	矢部　愛子	中川　英孝	山口　栄作	澁谷　剛士	市川　恵一	岩堀　研嗣	大井　知敏	深山　能一	末松　裕人	桜井　秀三	杉山　由祥	石井　勇	木村みね子	張替　勝雄	田居　照康	平林　俊彦	小沢　暁民	杉浦　誠一	大橋　博	鈴木　大介	川井　清晶	こひら由紀	山中　啓之	谷口　薫	原　裕二	海老原　弘	二階堂　剛	安藤　淳子	関根ジロー	中田　京
一般会計補正予算（特別養護老人ホームの増設に関する補助金の引き上げ）	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算（震災被害を受けた公的施設の修繕、耐震化等）	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険料の改定（調停額の引き上げ）	一般議案	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害被害に関する条例を、一部損壊も融資制度の対象とする改正	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市立病院非紹介患者の初診加算料を値上げする条例改正	一般議案	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市立病院建替えに関する答申書を尊重し、市民参加を求める陳情	陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
原発からの撤退を決断し、原発ゼロのプログラム作成を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書	意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島第一原発事故への責任ある対応を求める決議	決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会派名の略称　民主社民：民主・社民クラブ　無：無所属　※：議長のため採決には加わらない　〈敬称略〉

あなたのご意見をお寄せください ●●●●● 電話、FAX、メールのあて先は表面にあります。